

品質到達アンケートによる既存オフィスに対する新オフィスの評価

Evaluation of new office against existing office by quality attainment level questionnaire

菊田 道宣*, 鈴木 泰樹*, 野部 達夫**

キーワード：オフィス環境，欲求階層，ヒューマンファクター，希望レベル，到達レベル

研究目的

2022年2月にオープンした技術センターSOU センター棟において，オフィスの総合的な評価を得ることを目的として，マズローの欲求階層に基づくオフィス環境の品質到達アンケートを行なった。

研究方法

品質到達アンケートは，マズローの欲求階層の理論をオフィスに適用し，執務者個々が，現状のレベルと希望(理想)のレベルについて，図-1に示した「生理的欲求」から「自己実現欲求」までの5段階で評価を行なうものである。技術センターSOUの執務者の約3/4が既存オフィスからの移動なので，既存オフィスにおける同じ調査と比較対照することにより，SOU センター棟の評価を行なった。アンケートの実施時期は，SOU センター棟ではオープン2年目の2023年9月，既存オフィスでは翌年2024年1月である。

研究結果

アンケートの結果をバブルチャートで示す(図-2～4)。円の面積が人数(比率)を示し，到達レベル，希望レベルともに「生理的欲求」から「自己実現欲求」の5段階を1～5としている。各部のデザインについては，センター棟では希望レベルよりも到達レベルの方が高い回答が多く，センター棟は既存オフィスでの不満を解消するデザインとして概ね肯定的に受け取られていることがわかった。オフィスの様々な環境に関する項目では，「音環境」，「冷暖房」，「空気の新しさ」において，センター棟の到達レベルは既存オフィスよりも高い回答が多く，センター棟の TABS による空調システムや静穏な環境が評価されていることが伺われた。

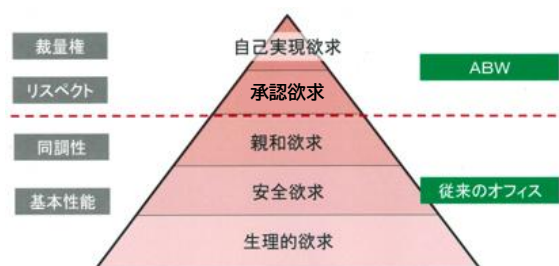


図-1 マズローの欲求階層とオフィスの評価構図

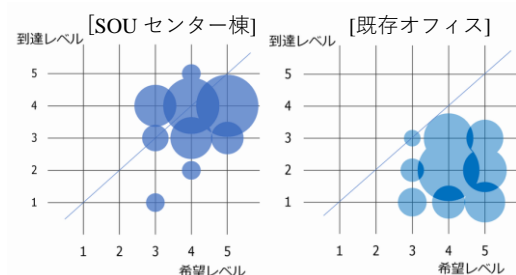


図-2 「オフィスエリア」の結果

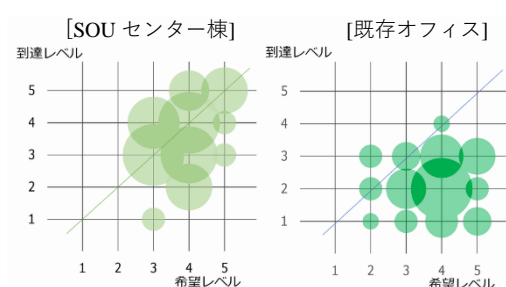


図-3 「音環境」の結果

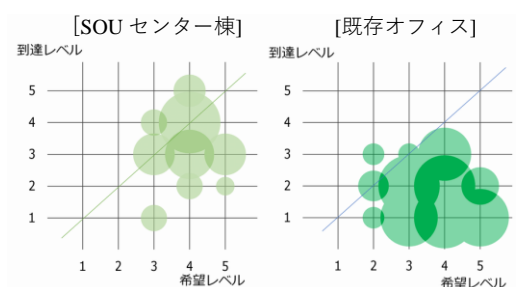


図-4 「冷暖房」の結果